

Association Profile



Software
Everywhere

Software Everywhere

すべてはソフトウェアで動く、これからのデジタル社会へ



SAJ 会長
株式会社豆蔵 K2TOP ホールディングス
代表取締役社長 萩原紀男

第四次産業革命ではあらゆるモノにソフトウェアが使われる時代になり、デジタル化によってソフトウェアの重要性がますます増してきています。すべてのソフトウェアを対象とし、デジタル社会を推進するために、「ソフトウェア（国）の未来を創る」をビジョンに見据え、協会活動を通じてソフトウェアに関わるすべての組織（チーム）・人をサポートすることをミッションとし、活動してまいります。

Vision

ソフトウェア
（国）の
未来を創る



Mission

ソフトウェアに関わるすべての組織（チーム）・人をサポートする

Activity

技術力の向上や人材育成、販売方法の開発、研究を促進することで、会員企業の成長と所属する社員の幸せをサポートする



ソフトウェア産業を代表してデジタル社会の推進に向けて政策提言をはじめ国と連携したエコシステムを構築する

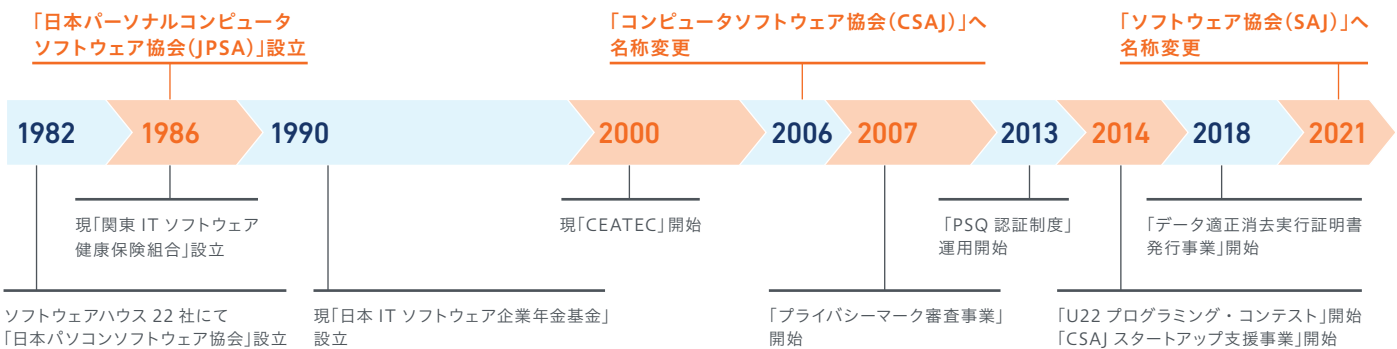
セキュアで高品質なソフトウェアの追求をし、デジタル社会の推進に貢献するとともに、日本のソフトウェア産業の向上に寄与する



SAJ のロゴで使用されている 3 色は、SDGs のアイコンから、SAJ の活動方針と親和性が高い「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」のオレンジと、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」のネイビーブルーを組み合わせ、さらに日本国旗の赤をモチーフとしました。

History of SAJ

SAJ の歴史



第三次産業革命 (IT 革命)

- 東芝、8 ビットパソコン「パソピア」発売
- 任天堂、「ファミリーコンピュータ」発売
- マイクロソフト、「Windows1.0」発売 (海外)
- マイクロソフト、「Windows98」発売
- グーグル設立 (海外)
- マイクロソフト、「WindowsNT3.1」発売

第四次産業革命へ (AI/IoT/BigData/VR...)

- SNS サービス「mixi」開始
- SaaS
- ストレージ、仮想化
- クラウド時代
- スマートシティ
- ソーシャルメディア
- Android
- ビックデータ
- IoT
- AI
- データ解析
- スマートデバイス
- 3D プリンタ
- データサイエンティスト
- ウェアラブル端末
- スマートフォンの普及

Committee / Sub-Committee

委員会・研究会活動

総務委員会	主に、協会全体の運営に関わる事項について 検討・決定	プロジェクトみらい(仮)	ソフトウェア業界の未来を担う 人材育成や人材交流に向けた活動を行う
政策委員会	政策提言のとりまとめや関係省庁等との意見交換、 ソフトウェア産業の支援策の検討等を行う	経営力向上研究会	経営や事業の改革・改善などを支援する活動を行う
法務・知財委員会	法改正に対する業界団体としての 意見提出や法務・知財関連の情報提供を行う	人材育成研究会	DX 技術を中心に、人材育成手法や研修体系の 整備に向けた意見交換や情報発信を行う
人材委員会	DX 時代における高度 IT 人材の育成と採用について 調査・意見交換などを行う	iCD 活用研究会	人材の評価と活用に有益な「iCD」の 導入・普及・活用のための活動を行う
プログラミング教育委員会	プログラミング教育および学校教育全体の DX 化に関するサポート体制の検討などを行う	インターンシップ採用研究会	「21 世紀型スキルを身につける PBL」を核とした 新しいインターンシップの開発を行う
国際委員会	会員企業の海外展開サポートを目的に 各種情報交換や調査・情報発信を行う	アジアビジネス研究会	アジア地域とのビジネス展開や交流を視野に入れた 調査や視察ツアーを行う
技術委員会	最新技術動向の発信や技術を通じた人材の 発展・成長を支援する活動を行う	UX Tech 研究会	デバイスやアプリケーションの UI/UX に関する 調査や情報発信を行う
交流委員会	会員同士の交流として、エグゼクティブセミナー、会員交流会、 会長杯懇談会、および、アライアンスビジネス交流会の企画・運営を行う	AI・量子計算技術研究会	AI(人工知能)と量子コンピュータに関する技術の 調査研究と情報発信を行う
地域 IoT 推進委員会	SAJ の活動を全国に拡大すべく、 全国各地でセミナーや懇親会などの企画、運営を行う	農業 ICT 研究会	農業 ICT による地方創生・サプライチェーン・ワークライフ バランスなど、多角的な視野から調査・研究・情報発信を行う
		スマート水産産業研究会	デジタルデータを活用した社会実装と協会のビジネス チャンスの可能性を研究し、SDGs への貢献を目指す
		顔認証ビジネス研究会	顔認証技術の活用とその課題について 国内外の事例を共有し、調査・研究・発信を行う
		地域 5G 研究会	日本各地への 5G 展開加速のため、課題調査の他、 新しい事業構想や解決策を生み出す活動を行う

「この指とまれ !!」で研究会設立

SAJ では、「この指とまれ !!」方式で会員企業が自ら自由な発想で、研究会を立ち上げることができます。(ただし、正会員 2 社以上必要)
1 社だけではできないことでも、様々な業種業態の会員同士が力を合わせることで可能性が広がります。

SAJ が提供する各種コンテンツのご紹介

SAJ では、公式 YouTube チャンネルや Web メディア「FINDERS (ファインダーズ)」を使って各種情報を発信しています。
ぜひご参照ください。



Development of Business Activities

SAJ が展開する各種事業活動

SAJ では各種事業活動を展開しています。

 <p>データ適正消去 実行証明書発行事業</p> <p>パソコン等のデータが 適正に消去されたことを 証明する 「データ適正消去実行証明書」 を発行する</p>	 <p>Software ISAC</p> <p>セキュア開発の推進や 脆弱性を最適に管理できる 体制の研究など、 開発者のための 情報交換基盤を提供する</p>	 <p>プライバシーマーク 審査事業</p> <p>SAJ 正会員・ 準会員企業を対象に プライバシーマークの 審査業務を実施する</p>	 <p>PSQ 認証事業</p> <p>国際規格に基づいて ソフトウェア製品の 安全性・信頼性の認証を 実施する</p>	 <p>CPS/IoT の総合展 CEATEC</p> <p>IT 技術と エレクトロニクスの 国際展示会「CEATEC」を 関連団体とともに 共催する</p>	 <p>U-22 加ガモンクエテアト</p> <p>U-22 プログラミング・ コンテスト</p> <p>未来の IT 人材の 発掘・育成を目的に、 22 歳以下を対象とした プログラミングコンテストを 運営する</p>
---	---	---	--	--	--

For Members

会員のメリット

SAJには、共通の認識をもつ様々な会員が所属しています。入会することで、こうしたメンバーとの人的交流が深められるだけでなく、多くのビジネスチャンスを引き出す活動に参加することができます。

ビジネスマッチング・交流会

委員会・研究会や懇親会のほかに、会員企業のビジネス拡大を目的とした企画を多数ご用意しています。

- アライアンスビジネス交流会
- エグゼクティブセミナー
- SAJ 幹部と新入会員との懇親会
- 会員交流会 ■ 会長杯親睦会 他



セミナー・研修

SAJでは様々なセミナーを企画し、現在はオンラインを中心に開催しています。DX実現に向けた最新技術情報や、人材育成・採用に役立つ情報、経営者向けの座談会など様々な部署・部門の方にご参加いただいています。



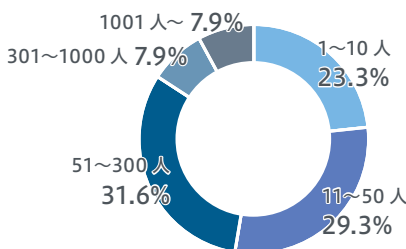
その他各種サービス

- コワーキングスペース「SAJ サテオ」(利用停止中)
- SAJ 会議室利用(利用停止中)
- セミナー等 live 配信 / ビデオアーカイブ
- 会員企業保有技術検索サービス
- 会員からのお知らせ
- SAJ NEWS/SAJ めるまが

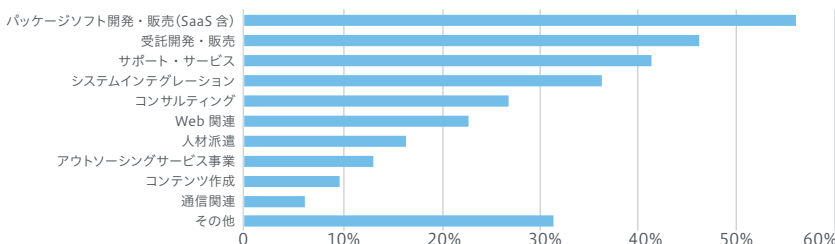
Member Profile

会員プロフィール

会員の従業員分類 令和2年度(2021年2月現在) N=317



正会員の業種・業態分類 令和2年度(2020年12月1日現在) N=307(複数回答)



Membership Fee

入会金・年会費

会員区分	年会費	入会金
正会員	60,000円 (年間売上高5千万円未満)	30,000円
	150,000円 (年間売上高5千万円以上1億円未満)	
	250,000円 (年間売上高1億円以上5億円未満)	100,000円
	350,000円 (年間売上高5億円以上10億円未満)	
	450,000円 (年間売上高10億円以上)	
個人会員	10,000円	無料

※ 入会キャンペーンやプライバシーマークの審査を前提とした入会などの特別な措置がございますので、SAJWebサイトをご参照ください。

※ なお、事業年度(4月~3月)途中に入会した会費は、会員となった月から年度末までの月数で算出されます。

会員区分	年会費	入会金
賛助会員	一般賛助会員 (1口 350,000円とし1口以上)	100,000円
	特別賛助会員 (1口 350,000円とし2口以上)	
	行政会員(都道府県) (1口 50,000円とし3口以上)	無料
	行政会員(市区町村) (1口 50,000円とし1口以上)	
	試験会場会員 (1口 60,000円とし1口以上)	30,000円
準会員	期間限定無料 (年間売上高1億円未満 又は従業員20人未満/最長2年間)	無料
	入会月 期限 4月~翌3月 翌々年3月末まで	